

令和6年度町づくり座談会会議録（八幡町）

開催日時	令和6年8月1日（木）午後7時00分～午後8時00分
開催場所	八幡町公民館
町側出席者	町長 庄司 中 建設課長 大沼進悟 総務課長 土屋弘行 教育文化課長 小林基流 まちづくり推進課長 大山和彦 産業振興課長 八鍬誠 総務主幹 小玉大輔 総務課主任 遠藤隼人
出席者	8名

議事概要

1. 開 会	総務課長の進行で開会する。（午後7時00分）
2. 挨拶と説明	庄司町長が挨拶と町施策の概要を説明する。
3. 懇 談	
総務課長	では、皆様からご意見、ご提言などございましたらお願いしたいと思います。
柏倉巧	柏倉です。よろしくお願いします。 私ここに引っ越してきて十数年経つんですけども、この道路、目の前の道路の先にですね、ガードレールがあるんですよ。お墓を守るための。そのガードレールを除雪の際に秋と春取り外しを今、八幡町の地区住民でやってるんですよ。私がここに引っ越してきた時はそういうもんなのかな、なんて思ってやってたんですけど、やはりちょっと10年ぐらい経つと高齢化が進んできて、みんな大変なんじゃないかなと思ひまして。 今後できれば除雪組合で除雪をしてらっしゃると思うので、その辺は除雪組合の方でガードレールの取り外し、保管まで含めてですね、やってもらえればありがたいんじゃないかなと思います。どうでしょうか？
参加者	除雪関係になりますけど、こちらの上原神社に行く道路。前の除雪オペレーターの方は大変上手でした。変わってから排土板1枚だけ掃いていくようになりました。そのために車が来ても交換できない格好になります。 そういうことで、今少し50でも60でも幅広く掃ってもらいたいです。
総務課長	今は除雪関係の話だと思います。では建設課長の方から。
建設課長	貴重なご意見ありがとうございます。まずはガードレールの取り付け・取り外し、今ここで分かりましたってわけにはいけないので、持ち帰らせていただいて、できるかどうか確認させていただきたいと思います。 最終的にはこの座談会の議事録とかそういったものを報告する予定をしていますので、そのあたりでお返しできればと思っておりますので、ご了承よろしくお願ひします。 それから、除雪の幅を、今までに狭くなったってことで、それもすいません。今

参加者	ここで分かりましたと言えないんですけど、オペレーターの方に伝えられるようにしたいと思いますのでよろしくお願いします。ありがとうございます。 防災無線についてなんですけども。ここの地区は何喋ってるのか分かんねえのよ。ほとんど聞こえない。たまにかき分けて聞こえることもあるんだけど、何喋ってるのか分からないのよ。だから、どういう風にすれば良いんだろうね。駅にあるんだけども、スピーカーあそこに足してもらってこっち向けてもらうとか、対策講じてもらいたいなと思って。町内の情報っていうのはあれで放送するんだけども、分かんないんだよ、全然、聞こえないから。
参加者	早く言えば12時と6時のチャイムも聞こえない。
総務課長	防災関係は総務で担当しますので、少しお話をさせていただきたいと思います。 設置する時に外に出て確認した上で一応設置したつもりではあるんですけどれも、今度あんまり近すぎる所に付けますとハウリングを起こしまして、聞きづらいついていうこともあって、なかなか増設もできないというのが現状です。 特に今、新しい家だと二重サッシとかで防音の方がしっかりしていて、それで聞きづらいとか。 あとは一般的には防災放送が鳴った時は雨降りとかそういう聞こえづらい時の方が多いものですから、うちの方ではそれを補完するようなことでですね、さっき町長が言いましたこの公式 LINE というものをまず作りました。 その防災放送で言った内容は、基本的にはこのラインの方で皆様にもお知らせするような形にしておりますし、もし何か鳴ってるなという時は、この下の方の「防災放送をもう一度聞きたい時は」ということで、確認ダイヤルというものがあるんです。ですので、その辺りは大変あの申し訳なく思うんですけども、この確認ダイヤルなどでお聞きしていただければというふうに思います。 ここに限らず、他の地区でもやっぱりそういうご意見も頂戴しております。やはりあまりに近いところで、逆にハウリングを起こして聞きづらいついていうところもあってですね。これ以上増設するのもなかなか難しいという現状がありますので、こういう別の方法でお知らせできないのかなというようなことで今現在考えておりますので、ご理解をお願いしたいと思います。
参加者	別な方法っていうのはスマホとかですよ。そうするとね、今高齢化で年寄りが多いんですよ。そうすると使えない人がいっぱい出てくると思うんですよ。覚えても忘れちゃうんですよ。これからどんどん酷くなります。 じゃあ別の方法で、例えば昔に戻るんですけども、防災のラジオみたいな感じの機器ですね。1台ずつ各家庭に置いてもらって、無線ではないですけども、周波数をそれにしてもらって、それで伝えてほしいと。 それだと室内でも聞こえますのでね。さっき言ったように冬なんか全然聞こえないです。それなのにお金かけてもしょうがないです。だから1台1台、みんな年寄りのところに置いてほしいと、その方が手っ取り早いです。

総務課長	只今ご意見を頂戴したことです、そういうことをしている市町村もあります。
参加者	はい、大蔵ね。
総務課長	大蔵村ですね、おっしゃるとおり。こちらの方もそういうところを何とか救えないのかなということで、そういうところも検討としてはしてるんですけども。
参加者	お金がかかりますか？
総務課長	結構かかるんですよ。
参加者	その辺、それは計画かけて何年計画とかそれで実施してもらえれば助かりますね。
総務課長	その辺りを認識はしておりますので、検討もしておる最中でございます。
参加者	検討ばかりでね、やらないこともあるから。
参加者	家がどんどん減ってくれば、逆に少なくて済むんだらうけど。
総務課長	特に高齢者宅に絞ってとかというと、台数も少なくて済むかもしれませんし。その辺のやり方とかも含めて、内部の方でも頭をひねってるところでございますので、まずはご理解をお願いします。
参加者	流雪溝の蓋なんだけど、すごい音なのよ、バーって。 あと歳だから上げらんねのよ。
参加者	それよ、役場に請願出したんよ。その結果はちょっと分からないけど。
参加者	それは絶対やってもらわないと無理だ。車歩くとカッカッカッカッってすごい音なんだ。
総務課長	流雪溝の水の音ではなくてですね。車歩いた時の音がうるさいってことですね。
参加者	結構上り下りしてるから、そうするとほらちょっと外に寄るでしょ。そうすると蓋の上車走るわけだ。そうするとこの蓋がなんか緩いのか知らないけどカンカンカンカンッ。あ、誰が行ったなみたいな、結構そういうのある。
参加者	蓋が上がってくるから、ものすごい音がするんだ。あと重さも、上げる重さも年だから上げられなくなったのよ。役場から来て上げてもらえるならいいんだけど。何とかその辺も検討してもらわないと。
参加者	あと、雪の投入口のグレーチングなんだけど、歳取ってっから皆重たくなっち

	やたのよ。ちょっともう少し本当は軽いのに変えてもらいたいんだけどね。若い時はそうでもないみたいだったけど歳取ったら腰も痛いし上げるの楽じゃない。
参加者	3枚にするとそうでもない。2枚だから重たい。
参加者	古いからな、1班の。古いんだ。
建設課長	今、おっしゃったとおり、地区からの要望として頂戴しております。それに対して回答も確か返していたかと思いますが、内容的に同じことになりますけれど、まずは流雪溝の蓋、やはり重いってことはどの地区からもいただいております、認識はしているんですが、これまでの経過からして、先ほどおっしゃられたとおり、蓋2枚割りのものを3枚割りにするといくらか1枚あたりは軽くなるって事で対応できるんですが、どうしても1軒の家に対して1か所投入口があるものですから、ある程度これまではそのお宅の負担を変えるには一部自己負担もいただいているんです。そういった公平性もありますので、そういうご負担もやむを得ないということであれば、それは対応いたしますので、役場の建設課の方にご相談いただければ、それは対応をさせていただきたいと思っています。 それから、その他にあの何年か前に開ける器具というのもご紹介したことがあるんですが、もしそういったものが必要だとすれば、その辺協力会の方を通して改めて準備してはどうかってことで、それは協力会の方でもお話ししていますので、冬前にお話しできればと考えています。
参加者	隣のじいさんが、役場かどこから借りたんだけど上げられなくてよ、持てないの。 で、大体、グレーチングって個人の物ではないべ。その家その家で投雪口は使用料払ってしてる訳だけど、グレーチングそのものは町のものだべ。町のもの、公共物に一般家庭で負担するっていうのはおかしいんじゃないか。
建設課長	そこで今議論してもあれですけど、これまではそのようにしていたようです。ある意味個人でずっと使っていたいて。
参加者	待ってられない人はそうだろう。
建設課長	その辺のやり方はまだこれからも考えていかなければならないでしょうけど。
参加者	そこら予算を取ってもらって、直ぐにと言ってもあれなのかもしれないけど。今年終わらなければ来年とか。
建設課長	その辺はご意見として。はい、ありがとうございます。
参加者	あと、音だけは何してもうまくないから、何とかしてもらわないとだめだ。うちに泊まって音聞いてくれ、目覚めるから。

建設課長	私も通らないわけではないので分かります。やっぱりどうしても町道は狭いので。
参加者	分かるならしてもらわないとだめだ。
建設課長	どうしても町道は狭いからすれ違いの時とか側溝の蓋踏を踏んでしまうのはやっぱり出てしまうんですが、一つ一つやっぱり探して行って、それに対して何か対策しなければならぬから、そこはまずご意見として持ち帰らせていただきます。できるだけ早く対応したいと思います。
参加者	よろしくお願いします。
参加者	町のさすがに大石田はあまりクマは出ないでしょうけど、害獣って言うんですかね。畑に行ってももうタヌキがここまで来て。タヌキとかハクビシンはもう年中。そういう対策って言うんですか、何かあるんでしょうか。
産業振興課長	山の方とかですと電気柵みたいなのをやっていうことはできるんですけど、ちょっと街中ではなかなか。どこにでもいるもんだから、なかなかそれを猟友会でどうのこうのというわけにはいかないの。楽じゃないのかもしれませんが。タヌキは結構いますか。
参加者	出てきてて。すぐここにいて、畑にいたら、もうびっくりして。 それで体育館の周りって言うんですか、裏、うちの裏なんですけども、前はね、1年何年ぐらいも前になりますか、前は体育館の周り1年に1回ぐらいは草刈って綺麗になってたんですが、ここ何年全然草むらも刈られないから、ぼうぼうになってて。あれも結構車入ってきて、あと夏休みとかって子どもさん達も利用したりして使うと思うんですけど、真ん中のグラウンドでも何でも、もう背丈以上になってますよね。せめて1年に1回ぐらいは草刈りとかに入ってもらえないんでしょうかと思うんです。私らはうちだから少し体育館の半分ぐらいまでをうち3軒が刈っていますけども、ちょっとあまりにももう草多すぎて。 全然使わなくても1週間に半分以上は利用になってるんですけども。 もうそれで街灯、全然点いてないんですよ、駐車場。
参加者	そこの訓練校、そこに体育館あるでしょ、それを言ってるんです。そこ町のものになってるんでしょ、今、土地は。
総務課長	土地は県から借りているという形です。
参加者	ああ、県のもの。でも町で管理してるんじゃないの。
参加者	管理は使用者任せなんじゃないの。街灯消えてからもう2年ぐらいになります。 どこにどうやって連絡してるんだか、真っ暗なところを9時まで使って真っ暗なところを車だからライトでね。

参加者	かなり荒らしてるんだよね。草ボーボーだし。
総務課長	街灯というのは訓練校の中の方の街灯ですか。
参加者	そうそう。門から入って体育館までの街灯が2本ぐらいあったんです。それが1本消え、2本目も消えて、今はもう全く点いていない。真っ暗なんです。みんな車で出入りするからって。
参加者	太鼓か。
佐藤	太鼓の人もいれば
参加者	太鼓うるさくないか、あそこ。
参加者	意外とうるさくないです。
参加者	ここ防音装置ないからこっちまで聞こえてくる。 だからああいうのは防音装置のあるところでやってほしいと思うんだけども、各サークルでどう考えているか分からないけれども。
参加者	でも草くらい1年に1回ぐらい刈ってほしい、すっきりと。
参加者	駅の人たちもうるさいはずだよ、あの太鼓の音。祭りのために練習してるんだろうけど、やめてけるなんて言えないしね。八幡町地区民がそういうクレーム出したってのもうまくないし。
参加者	虹のプラザは防音装置入ってるから、あそこでしてもらおうとそんなにやかましくない。
建設課長	はっきり今使えるとは言えません。
参加者	本当はケヤキの木切ってもらいたいんだけど、県だしなぁと思って。あそこ来た年に生徒さん達が実習に植えたんですよ。もう44年くらい経って、これも畑に、すごいんです。伸びて。
参加者	あの体育館は管轄誰なんですか。持ち物としては。
総務課長	持ち物は県で、県の方から貸与を受けています。
参加者	貸与を受けているってことは町で管理しなければならないってことでしょ。町で言ったら何課が担当になってるの。

総務課長	契約は、財産なので貸与契約を総務課でしていますが、使用については教育委員会の方で。
教育文化課長	使用の許可とかは教育委員会でしています。
参加者	じゃあ太鼓の話は教育委員会にして。ケヤキの方は。
参加者	虹プラとかカルチャーとかなんとかあるんだから、そういうところで交代で回していけばいいんだけどな、そうすると少しは楽なるんだけども。
教育文化課長	ステージですか。ステージは業者が入らないといけないので、人件費がかかるんですね。使うのに。
参加者	町の施設使うのに有料になるのか。
教育文化課長	そうなっちゃいます。町の負担になるんですけれども、人件費がかかってしまうので。
参加者	福祉会館の時は金かかんなかったべ。
教育文化課長	福祉会館の時は職員でやっていましたので、専門の人は入ってなかったののでできたんです。
参加者	練習すんだよ、ただ。
教育文化課長	練習するにも人が入らなければならないので、ステージ使う時は。そこに人件費がかかってしまうので。
参加者	昔は良かったけど今はだめってことか。
教育文化課長	今の施設が昔の施設よりもちゃんとした施設になっているので、人手がかかってしまうんです。
参加者	金かかるってことか。
参加者	ここと同じだろう。使う人がちゃんとさえしてくれれば。
教育文化課長	使う人のほかにそれを管理する人が付かないとならないんです。
参加者	管理する人いないんじゃ。

教育文化課長	だめなんです。管理する人がいないと使えないんです。
参加者	あそこだとなんぼ叩いても。
教育文化課長	なんぼ叩いてもいいですね。
参加者	俺が若い頃は昔福祉会館で練習してたんだ。あの時バンド組んでたんだ。そしたら面白くてよ。
教育文化課長	虹のプラザのステージではないですが、リハーサル室など、2階にリハーサル室って言うのがあるんですけど、ここですと音はもっと静かですね。
参加者	本当はそういうところでやってもらえるとね。すんなってはいえないけど。
教育文化課長	その団体の人たちの集まりやすさというのもあるでしょうから、そっち使えとはなかなか言いづらいですけど。ただ、近所でうるさいという話もあればそれはちょっと団体の方にも相談できますので。
参加者	いや、そんなんじゃないんだけど、周りの整備というか。
総務課長	草刈りの件は多分町の方でも対応できるかとは思いますが、県の方の係もおりますので、その辺と調整してみて、年に1回ぐらいは刈るようなやっぱり形で。
参加者	そうやって草刈らないから獣がいるのかもしれない。タヌキとかよ、集まってくるのよ。巣を作ってるんだ。
総務課長	木を切るのはなかなかちょっと難しいかもしれませんが、草刈りぐらいは対応できるかなと思います。
参加者	もっとちっちゃいうちに言えば良かったね。
総務課長	分かりました。ありがとうございます。
参加者	すっきりしてもらった方が。
参加者	空き家にもいるな、ハクビシンとか。
参加者	空き家にも生き物いっぱいいるは。
参加者	巣作ってる。

参加者	キツネだってカラスだって、野良ネコもいっぱいいる。
参加者	ああいうのって取り締まれないもんなのかね。空き家管理してる人いるでしょ。もう野放し状態よ。ガラスは皆割れてるし。そういうのって町で綺麗にできないのか。
まちづくり推進課長	所有者の方に町の方でも今の状況の写真を添付して、空き家だから管理を、タヌキとか巣くってるから管理してください、また草刈りしてないところとかは今草伸び放題茅とか伸び放題だから管理してください、というのは言っております。
参加者	ここは不動産屋だな、管理してるの。
まちづくり推進課長	また明るくなってから明日にでもちょっと状況確認して、写真を押さえさせていただきます。
参加者	ガラス割れて皆、出入り自由なんだ。
参加者	結構インバウンドってさっき町長お話しされたんですけど、インバウンドの人って、こっちに来て何も何もないの分かんないのに、こっちに結構歩いてくるんです。都会だったらちょっと歩けば何かあるみたいなイメージで多分来るんでしょうけど、この辺さ来ても別に住宅街なんで何も見るところも無いんですけど、やっぱうろうろしてる若者もいますし。ちょっとその辺なんか、こっちに何も無いよ、みたいな。まあ、冗談だけど。
参加者	角二山あるだろう。
参加者	角二山しかないよ、みたいな。逆に言えば。 結構やっぱりコロナ明けてから結構うろうろというから。少し町で認識してもらえれば。
参加者	お金落としていってもらえれば良いですけどね。ゴミしか落とされない。
まちづくり推進課長	対応させていただきます。
参加者	この裏の畑、皆荒らされてるのか。
参加者	夜中は歩いてるよ。うちの家の前に直接こういう糞が2つ置かれてたもの。あれはイヌネコでない。夜中歩いてるんだ。

参加者	Google マップとかで見てくるのだから、何もないのを分かってても来る可能性があります。何が目的で行くか分からないので。でも来ないでくれえとは言えませんが。人それぞれの考え方だから何とも言えませんが。
参加者	もう1ついいですか。たい焼き屋さんで来たんですけど、あそこの饅頭屋さんの丁字路。非常にあそこに車止められるとこっちから行くとき危ない。見通し悪いから。ただでさえ危ないのに。
参加者	うちらが言うと棘立つから、そこはやっぱり役場からの注意喚起という形でやってもらえると。
参加者	結構最近停まってる。手前に停まってみたり、交差点の方に停めてみたり。そうすると今度曲がれないし。そのうち事故が起きるかもしれない。
総務課長	その他何かございましたらお願いしたいと思います。
参加者	私らだんだん高齢者になってきて、町で70何歳以上からってハイヤー券は確かに私ら貰っています。一人暮らしで運転する人もいないんで、これからだんだんだんだん高齢者が多くなるので、やっぱりどこかの町で私テレビで見たんだけど、移動販売車、ああいう風なのが1週間に1回でも10日に1回でも来てくれたら買い物行く苦労も多少はと思うんだけど、そういうのはどうでしょうか。
まちづくり推進課長	ちょっと検討はさせていただいてるんですけど、ちょっとまだ実現には至ってないので、試験的に運用してみたりっていうのもあるので、ちょっとお時間をください。
参加者	はい、分かりました。
参加者	昔は魚屋も八百屋も来てたんだ。
参加者	スーパーできたから来なくなったんだな。
参加者	スーパーに行かんねよ。楽んねくて。スーパーに行くたって、自転車だって楽んね。ハイヤー券貰ってるからこれはありがたい話ですけど、やっぱり医者に行ったりなんだかんだするとそれはもう使ってしまうから、やっぱりそういうのにしてくれたら、確かにありがたいなと思って。これからはますますそう思います。
参加者	やっぱり大石田は下の方にお店屋さんがある。上の方は肉屋さんもなければ、魚屋さんもあったんだけど。 どっちに行くにも坂で坂で。愛宕町に行くたって皆坂で、行きはいいけど帰りは自転車引っ張って来なければならないから。本当に年寄りにとっては楽じゃないです、それは。

総務課長	はい。その他ございましたらお受けしたいと思います。 では皆様からこういう意見もいただきました。様々ですね。これから少し考えていかなければならない点多々ありますので、その辺については先ほど答えたようにちょっと持ち帰って考えなければならぬところもございますので、今日はまずその辺でご理解をしていただければというふうに思います。 今日いただいたやりとりについては文字に起こしましてですね。ホームページとかそういうところで掲載したいというふうに考えております。なかなかその取りまとめも大変ですが早めにですね、そういうご意見の内容を皆様町民全体に伝えたいなと思ひまして。ホームページの方に載せたいというふうに考えておりますので、その点もご了承いただければと思います。 では、以上で本日のまちづくり座談会は閉じさせていただきますが、今後でもですね、こういう場に限らず役場の方では皆様からのご意見などもいつでも頂戴する体制でおりますので、その点お気軽にお電話なり、役場の方でご意見箱とかも設けておりますので、その辺に書いていただければ参考にさせていただきたいというふうに思っております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。本日は誠にありがとうございました。
6. 閉 会 （午後8時05分）	